

20230524【海外安全対策情報】台風2号（国際名：マーワー）の接近に伴う注意喚起

【ポイント】

- 台風2号（国際名：マーワー）は、フィリピン・ルソン島北部に接近する見込みです。
- 最新の気象情報を入手し、災害や事故に巻き込まれないよう、適切な安全対策を講じた上で十分に注意してください。

【本文】

1 フィリピン気象庁によれば、24日（水）午前4時現在、フィリピン・ビサヤ諸島の東約2200キロ付近の海上に位置する非常に強い勢力の台風2号（国際名：マーワー）は、ゆっくりと北西方向に移動しており、26日（金）夜から27日（土）朝にはフィリピンの気象観測区域に進入する見込みです。今後、勢力を強めながらルソン島北部付近を通過し、地域によっては強風、大雨をもたらす可能性があります。

2 この台風の接近に伴い、強風や大雨のみならず場合によっては洪水・土砂崩れ・荒波等による人的・物的被害のほか、各種交通機関の混乱等をもたらすおそれもあり、注意が必要です。

3 つきましては、台風による被害を受ける可能性がある地域に滞在している方は、下記の関連ウェブサイト等を参考に最新の台風情報や現地の気象情報の収集に努め、台風による被害が予想される場合には外出を控えること等、災害や事故に巻き込まれないよう安全確保に努めてください。

また、台風による被害に備え、懐中電灯・携帯用ラジオ等を手元に置いておくこと、飲料水・食料を備蓄すること、家族等に緊急の連絡先を知らせること、滞在されている地域で避難場所が設けられる場合には、地方行政機関の条例、指示等に従って行動してください。

更に、台風通過後も、地盤の緩みに伴う土石流など、予測できない複合的な二次災害が発生する可能性もありますので注意してください。

《参考ウェブサイト》

フィリピン気象庁(PAGASA)：<https://www.pagasa.dost.gov.ph/>

日本気象庁（台風情報）：<http://www.jma.go.jp/jp/typh/>

フィリピン国家災害リスク削減管理委員会（NDRRMC）：<http://www.ndrrmc.gov.ph/>

4 万一災害に巻き込まれた場合は、現地当局が発表する警報・指示等に従って安全確保に努めるとともに、ご自身の安否等の状況について日本の留守家族及び最寄りの日本国大使館・総領事館に連絡してください。

.....

※この情報は、在留届、及び「たびレジ（本登録）」に登録されたメールアドレスに自動的に配信されております。「たびレジ」簡易登録された方で、メールの配信を変更・停止されたい場合は、以下の URL から停止手続きをお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>

※災害や騒乱等が発生した際、ご家族、ご友人、同僚を守るため、一人でも多くの方に安全対策に関する情報が届くよう、在留届（3 か月以上の滞在）の届出、又はたびレジ（3 か月未満の滞在）の登録を、お知り合いの方や出張者・旅行者にご案内いただけますようお願いいたします。

（問い合わせ窓口）

○在セブ日本国総領事館

住所：8th Floor、 2Quad Building、 Cardinal Rosales Avenue、 Cebu Business Park、
Cebu City、 Philippines

電話：（市外局番 032） 231-7321

FAX：（市外局番 032） 231-6843

ホームページ： https://www.cebuph.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

○在フィリピン日本国大使館

住所：2627 Roxas Boulevard、 Pasay City、 Metro Manila

電話：（市外局番 02） 8551-5710

（邦人援護ホットライン）（市外局番 02） 8551-5786

FAX：（市外局番 02） 8551-5785

ホームページ： http://www.ph.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

○在ダバオ日本国総領事館

住所：4th Floor、 B.I. Zone Building、 J.P. Laurel Avenue、 Bajada、 Davao City
8000

電話：（市外局番 082） 221-3100

FAX：（市外局番 082） 221-2176

ホームページ： https://www.davaoph.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html